

■ 「第5期草津市障害福祉計画～数値目標計画～」の施策体系

【基本理念・目標】

障害のある人もない人も、誰もがいきいきと輝けるまち 草津
～共に生きる・インクルーシブな社会の実現を目指して～

【成果目標と活動指標】

障害のある人の地域生活への移行をはじめとする以下の6つの項目について、数値目標等を掲げて、その着実な推進・達成を図ります。

- 1 施設入所者の地域生活への移行
- 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
- 3 地域生活支援体制の強化
- 4 福祉施設から一般就労への移行等
- 5 障害児支援の提供体制の整備等
- 6 日常生活を支えるサービスの確保等

基本指針で示された成果目標や市独自の成果目標と、それを達成するための障害福祉サービス等の活動指標の関係は次のページに示すとおりです。

＜成果目標と活動指標の関係＞

成果目標	➡ 第2章	活動指標	➡ 第3章
1 施設入所者の地域生活への移行			
【地域生活移行者の増加】			<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問系サービス（居宅介護等）の利用者数、利用時間数 ○ 生活介護の利用者数、利用日数 ○ 自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用者数、利用日数 ○ 就労移行支援の利用者数、利用日数 ○ 就労継続支援（A型・B型）の利用者数、利用日数 ○ 短期入所（福祉型、医療型）の利用者数、利用日数 ○ 自立生活援助の利用者数 ○ 共同生活援助の利用者数 ○ 地域移行支援の利用者数 ○ 地域定着支援の利用者数 ○ 施設入所支援の利用者数
【施設入所者の削減】			
2 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築			
【障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者の協議の場の設置状況】			<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問系サービス（居宅介護等）の利用者数、利用時間数 ○ 生活介護の利用者数、利用日数 ○ 自立訓練（生活訓練）の利用者数、利用日数 ○ 就労移行支援の利用者数、利用日数 ○ 就労継続支援（A型・B型）の利用者数、利用日数 ○ 短期入所（福祉型、医療型）の利用者数、利用日数 ○ 自立生活援助の利用者数 ○ 共同生活援助の利用者数 ○ 計画相談支援の利用者数 ○ 地域移行支援の利用者数 ○ 地域定着支援の利用者数
【市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況】			
【精神病床における1年以上長期入院患者数（65歳以上、65歳未満）】			
【精神病床における早期退院率】			
3 地域生活支援体制の強化			
【地域生活支援拠点の整備】			<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域生活支援事業の実施数、実利用者数、利用件数等 ○ 法定外のサービスの利用者数、利用日数等
【孤立化防止の推進】			
4 福祉施設から一般就労への移行等			
【福祉施設利用者の一般就労への移行者の増加】			<ul style="list-style-type: none"> ○ 就労移行支援の利用者数、利用日数 ○ 就労移行支援事業等（就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型）から一般就労への移行者数 ○ 就労定着支援の利用者数
【就労移行支援事業の利用者の増加】			
【就労移行支援事業所の就労移行率の増加】			
【職場定着率の増加】			
5 障害児支援の提供体制の整備等			
【児童発達支援センターの設置および保育所等訪問支援の充実】			<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童発達支援の利用児童数、利用日数 ○ 医療型児童発達支援の利用児童数、利用日数 ○ 放課後等デイサービスの利用児童数、利用日数 ○ 保育所等訪問支援の利用児童数、利用日数 ○ 居宅訪問型児童発達支援の利用児童数、利用日数 ○ 障害児相談支援の利用児童数 ○ 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数
【主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所および放課後等デイサービス事業所の確保】			
【医療的ケア児支援のための保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関の協議の場の設置】			
6 日常生活を支えるサービスの確保等			
【基幹相談支援センターの設置】			<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域生活支援事業の実施数、実利用者数、利用件数等 ○ 生活介護の利用者数、利用日数 ○ 共同生活援助の利用者数 ○ 医療型児童発達支援の利用児童数、利用日数
【生活介護のサービス量の確保】			
【グループホームの整備等の促進】			
【医療的ケアの必要な子どもへの支援の充実】			

■「第5期草津市障害福祉計画～数値目標計画～」の進捗状況

◆成果目標の進捗状況

1 施設入所者の地域生活への移行

	項目	数値(累計)		項目	数値(累計)
計 画 値	平成28年度末時点の 入所者数(A)	46人	実 績 値	/	/
	令和2年度末時点の 退所者数(B) ※施設入所からグループホーム等へ 移行した者等の数	3人		令和元年度末時点の 退所者数(G)	4人 (死亡退所4人)
	令和2年度末時点の 新規入所者(C) ※グループホーム等での対応が困難 な者等の数	2人		令和元年度末時点の 新規入所者(H)	2人
	令和2年度末時点の入所者数 (D) = (A-B+C)	45人		令和元年度末時点の入所者数 (I) = (A-G+H)	44人
	【目標値】 令和2年度末時点の 地域生活移行者数(E) = (B) ※施設入所からグループホーム等へ 移行した者等の数	3人 6.5% (E/A)		【実績値】 令和元年度末時点の 地域生活移行者数(J) = (G)	4人(死亡退所4人) 8.7% (J/A)
	【目標値】 令和2年度末時点の 削減見込(F) = (A-D)	1人 2.2% (F/A)		【実績値】 令和元年度末時点の 削減数(K) = (A-I)	2人 4.3% (K/A)

平成28年度末時点から令和元年度末時点で、施設入所からグループホーム等へ移行した者等の数は0人、死亡による退所者が4人です。また、グループホーム等での対応が困難な者等（新規入所者数）の数は2人であり、令和元年度末時点の施設入所者は44人です。施設入所者については、県内施設において長期の入所が常態化している者とするため、県外施設やむれやま荘等の（旧）身体障害者更生施設に入所している者は含まれていません。

令和元年度末時点において地域生活移行者数は、目標値3人（6.5%）に対して、実績値4人（8.7%）（ただし死亡を除くと実績値は0人）、削減見込は、目標値1人（2.2%）に対して、実績値2人（4.3%）となっています。

施設から地域生活への移行にあたっては、在宅やグループホーム等での対応が困難なケースが増えています。生活介護、短期入所の利用者数の増加により、地域での受け入れが困難なケースもあります。施設入所者の地域生活への移行促進や、在宅生活の継続が困難な人を受け入れる住まいの場の確保を進めるため、グループホーム等の整備促進を図ります。

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障害のある人の地域生活を支える環境を整備するための、入院中の精神障害者の退院に関する目標値においては、国の基本指針に沿って滋賀県が設定するものとされています。

【国の基本指針に定める目標値】

- ・ 令和2年度末までに全ての圏域ごとに、精神障害者地域移行・地域定着推進協議会などの保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置
- ・ 令和2年度末までに全ての市町村ごとに協議会やその専門部会などの保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置（市町村単位での設置が困難な場合には、複数市町村による共同設置も可）
- ・ 令和2年度末の精神病床における65歳以上の1年以上長期入院患者数
- ・ 令和2年度末の精神病床における65歳未満の1年以上長期入院患者数
- ・ 入院後3か月時点の退院率については69%以上
- ・ 入院後6か月時点の退院率については84%以上
- ・ 入院後1年時点の退院率については90%以上

市としては、湖南福祉圏域に設置された、湖南圏域精神障害者地域移行・地域定着支援会議などにおいて、長期入院患者や入退院を繰り返す者の地域生活への移行および地域定着を推進するための協議を重ねています。しかしながら、退院後の居場所の確保が大きな課題であり、地域移行が進んでいないのが現状です。そのため、地域移行後に在宅生活の継続が困難な人を受け入れる場として、グループホームの整備促進を図る必要があります。また、地域移行を促進するため、市、病院、サービス提供事業所等の関係機関のさらなる連携強化を図り、地域相談支援の制度の周知を行います。

参考（地域相談支援の実施状況）

サービス種別		単位・指標	第5期	
			平成30年度 計画値 (実績値)	令和元年度 計画値 (実績値)
			達成率	達成率
相談支援	地域相談支援 (地域移行支援)	利用者数	3 0 0%	3 0 0%
	地域相談支援 (地域定着支援)	利用者数	2 (1) 50%	2 (1) 50%

地域移行支援の利用者数は平成30年度、令和元年度ともに0名であることから、地域移行について大きな課題があることが分かります。また、地域定着支援の利用者数は1名であるため、今後、医療機関やサービス提供事業所と連携を深め、利用者数の増加とサービスの更なる周知を図ります。

3 地域生活支援体制の強化

◆障害者が安心して暮らせる地域の体制づくり（面的整備型）

計画	<p>本市（圏域）では、地域生活支援のための相談、体験の機会や場の提供、緊急時の受入および対応、専門的な対応、地域の体制づくり等の機能を既存施設や事業者等が分担して担い、個々の機能の有機的な連携により効果的な支援が確保されるよう、市立障害者福祉センターや地域包括支援センター、その他相談支援事業所が関係機関、事業所等と連携し、各種サービスの調整を行うことで、総合的な支援を実施します。</p> <p>障害のある人の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた視点に立ち、障害のある人が学校卒業、就職、親元からの自立等、生活環境が変化する節目を迎えたときの継続した支援等が求められているため、福祉、医療、教育、雇用等の関係機関・事業所等との協議の場である草津市障害児（者）自立支援協議会や湖南地域障害児・者サービス調整会議等を通じて、障害のある人のニーズを総合的に捉え、この地域に求められている支援のあり方を検討し、引き続き障害のある人の地域生活支援体制の強化を図ります。</p>
実績	<p>福祉、医療、教育、雇用等の関係機関・事業所等との協議の場である草津市障害児（者）自立支援協議会や湖南地域障害児・者サービス調整会議等を通じて意見交換を重ねて、アンケート等を実施し、地域のニーズや地域生活支援拠点のあり方の検討を行い、課題等を抽出しました。当市では面的整備型を選択し、「相談」「緊急時の受入れ・対応」の機能を中心に整備することを確認しました。</p>

※圏域とは、草津市、守山市、栗東市および野洲市（湖南4市）の福祉圏域のことを示します。

令和3年度中の運用開始を目指し、より具体的に協議を進めていく必要があります。引き続き草津市障害児（者）自立支援協議会や湖南地域障害児・者サービス調整会議等を通じた調整を図るとともに、各種関係団体等との調整や圏域での要綱整理等を行います。

◆孤立化防止の推進

計画	<p>高齢者と障害者で構成される世帯、障害者単独世帯等、特に支援が必要と思われる世帯について調査を行い、障害者本人だけでなく養護する家族の相談に応じることや、必要なサービスにつなげること等により支援を行います。また、特に支援・見守りが必要な世帯の情報を地域の支援者間で情報共有し、見守り、訪問活動を促進します。</p>
実績	<p>高齢者と障害者で構成される世帯、障害者単独世帯等、特に支援が必要と思われる世帯について地域の支援者間で情報共有して訪問活動を実施し、必要なサービスにつなげること等により支援を行いました。また、訪問時には、障害者本人だけでなく養護する家族の相談にも応じ、気軽に参加できるサロンへの参加につなげました。</p> <p>【令和元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立が懸念される障害者世帯の訪問活動 <訪問勧奨19件 訪問実績18件> ・障害者を擁護する者が気軽に参加し、懇談できるサロンの開催 <サロン開催数5回 参加者89名>

令和元年度は新規対象者4件を含めた計18件の訪問活動を行い、関係性が徐々に構築されて、より対象者の生活に関わる話ことができました。また、年に一度の訪問ではなく状況に応じて定期的に訪問が必要と思われる世帯もあり、今後、支援方法のさらなる検討が必要です。

4 福祉施設から一般就労への移行等

① 福祉施設利用者の一般就労への移行

項目		数値	内容
計画値	平成28年度の一般就労移行者数(A)	8 人	○ 平成28年度において福祉施設を退所し、一般就労した者の数 ○ 令和2年度において福祉施設を退所し、一般就労した者の数(割合については一般就労移行者数(B)を(A)で除したもの)
	【目標値】 目標年度の一般就労移行者数(B)	14 人 175 %	
実績値	【実績値】 令和元年度の一般就労移行者数(C) ※実績値割合は目標値に対する達成率	17 人 121 %	○ 令和元年度において福祉施設を退所し、一般就労した者の数(割合については実績値(C)を目標値(B)で除したもの)

② 就労移行支援事業の利用者数

項目		数値	内容
計画値	平成28年度末の就労移行支援事業利用者数(A)	46 人	○ 平成28年度末において就労移行支援事業を利用する者の数 ○ 令和2年度末において就労移行支援事業を利用する者の数(割合については就労移行支援事業の利用者数(B)から(A)を除したもの)
	【目標値】 目標年度の就労移行支援事業の利用者数(B)	57 人 124 %	
実績値	令和元年度末時点の就労移行支援事業の利用者数(C) ※実績値割合は目標値に対する達成率	59 人 104 %	○ 令和元年度末において就労移行支援事業を利用する者の数(割合については実績値(C)を目標値(B)で除したもの)

③ 就労移行支援事業所ごとの就労移行者の割合

項目		数値	内容
計画値	【目標値】令和2年度末の就労移行支援事業所数(A)	6 箇所	○ 令和2年度末時点の就労移行支援事業所の数 ○ 令和2年度末において就労移行支援事業所のうち就労移行率が3割以上の事業所の数(割合については事業所数(B)を就労移行支援事業所数(A)で除したもの)
	【目標値】上記(A)のうち、就労移行率が3割以上の事業所数(B)	3 箇所 50 %	
実績値	令和元年度末の就労移行支援事業所数(C)	6 箇所	○ 令和元年度末時点の就労移行支援事業所数 ○ 令和元年度末において就労移行支援事業所のうち就労移行率が3割以上の事業所の数(割合については事業所数(C)を就労移行支援事業所数(D)で除したもの)
	令和元年度末時点の就労移行率が3割以上の事業所数(D) ※実績値割合は目標値に対する達成率	5 箇所 83 %	

令和元年度の一般就労移行者数は、目標値14人に対し、実績値は17人で、就労移行支援事業所の利用者数は目標値57人に対し、実績値は59人でした。就労移行支援事業所数は、目標値6箇所に対し、実績値は6箇所、そのうち就労移行率が3割以上の事業所数は、5箇所目標値50%に対し、実績値83%でした。現時点で目標を達成できている項目もありますが、引き続き、一般就労移行者の増加に向けて、支援機関との連携をより一層図ります。

④ 就労定着支援利用者の職場定着率

	項目	数値	内容
計画値	【目標値】就労定着支援による支援開始から1年後の職場定着率	100 %	○ 令和元年度末における就労定着支援利用者の1年後の職場定着率
	【目標値】就労定着支援による支援開始から1年後の職場定着率	100 %	○ 令和2年度末における就労定着支援利用者の1年後の職場定着率
実績値	就労定着支援による支援開始から1年を経過した利用者数（A）	22 人	○ 令和元年度末における就労定着支援利用者の1年後の職場定着率（割合については就労定着支援による支援開始から1年を経過した利用者数（A）を職場定着している者（B）で除したもの）
	上記の者のうち、職場定着している者（B）	18 人	
	就労定着支援による支援開始から1年後の職場定着率（C）	82 %	

令和元年度の就労定着支援利用者の職場定着率は、就労定着支援による支援開始から1年経過した利用者数は22人で、そのうち、職場定着している者は18人でした。職場定着率は目標値100%に対し、実績値82%でした。今後も就労定着支援利用者の職場定着率を上げるために、引き続き、支援機関との連携を図り、職場定着率の向上に努めます。

5 障害児支援の提供体制の整備等

① 児童発達支援センターの設置および保育所等訪問支援の充実

項目		数値	内容
計画値	児童発達支援センター	1 箇所	○ 令和2年度末時点の児童発達支援センターの数
	保育所等訪問支援	4 箇所	○ 令和2年度末時点の保育所等訪問支援の事業所数
実績値	児童発達支援センター	1 箇所	○ 令和元年度末時点の児童発達支援センターの数
	保育所等訪問支援	4 箇所	○ 令和元年度末時点の保育所等訪問支援の事業所数

児童発達支援センターは発達支援センターが指定を受け、平成24年度から児童発達支援と保育所等訪問支援に取り組み、平成27年度から障害児相談支援を実施しています。保育所等訪問支援は令和元年度末時点では、発達支援センターの他、民間事業所が指定を受け4か所の事業所が開所しています。

② 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所および放課後等デイサービス事業所の確保

項目		数値	内容
計画値	児童発達支援	1 箇所	○ 令和2年度末時点の主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の数
	放課後等デイサービス	2 箇所	○ 令和2年度末時点の主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所の数
実績値	児童発達支援	1 箇所	○ 令和元年度末時点の主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の数
	放課後等デイサービス	3 箇所	○ 令和元年度末時点の主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所の数

児童発達支援、放課後等デイサービスともに民間事業所が指定を受け、計画値通り、児童発達支援については1箇所、放課後等デイサービスについては3箇所で支援を行いました（内、1か所は休所中）。また、看護師を配置し、医療的ケアが必要な重症心身障害児に対しても支援を行いました。

③ 医療的ケア児支援のための保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関の協議の場の設置

計画	既存の協議会などを活用して、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係者による協議の場を平成30年度末までに設置します。
実績	平成30年度から、草津市障害児（者）自立支援協議会の部会において、協議の場を設置し、医療的ケア児の実態把握や支援ニーズの調査等を行いました。

6 日常生活を支えるサービスの確保等

① 基幹相談支援センターの設置

計画	関係機関との連携の強化を図り、地域における総合的な相談支援体制の充実を図るため、基幹相談支援センターの設置に向けて取り組みます。
実績	基幹相談支援センター設置に向けて、令和2年度に相談支援事業者に対し総合的かつ専門的な支援を行う基幹相談支援コーディネータを配置するために、関係機関と協議を行いました。

② 生活介護のサービス量の確保

計画	生活介護については、特別支援学校卒業後の進路先としてのニーズが高いことから、インクルーシブな社会環境づくりを進めるとともに、サービス量の確保を図ります。
実績	湖南地域障害児・者サービス調整会議等を通じ、障害の程度や種別に応じた新たな事業所の整備や増築等につながる方策を検討し、事業者に働きかけを行いました。また、「共生型サービス」の制度運用が平成30年4月から開始され、介護サービス事業所が共生型障害福祉サービスの指定を受けることができないか、指定勧奨の働きかけを行いました。

③ グループホームの整備等の促進

計画	グループホームについては、本人と家族の高齢化と相まって地域生活の場としてのニーズが高く、サービス量の確保が必要であるため、補助制度を活用したグループホームの整備や定員増等について、一層の促進を図ります。
実績	市独自でグループホームに特化した施設整備補助制度を設け、整備促進を図っているところであり、事業者と連携しながら、新たなグループホームの整備へ向けて、引き続き調整を行います。

④ 医療的ケアの必要な子どもへの支援の充実

計画	医療的ケアの必要な子どもに対して、関係機関と連携して、通所や訪問による支援の充実を図ります。
実績	令和元年度は、草津市障害児（者）自立支援協議会の発達支援部会において、医療的ケア児の実態や支援ニーズの把握を行い、現状と課題について関係機関で認識を深めました。今後は、支援体制の更なる充実を図るために、支援施策について協議を行います。

◆各障害福祉サービスの進捗状況

(1) 自立支援給付

ア. 訪問系サービス

居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護	所管課	障害福祉課
事業内容	介護が必要な人に対し、ヘルパーが訪問し、入浴や排せつ、食事等の日常生活上の支援を行います。	

【サービスの計画値と実績】

指標	第4期			第5期				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
全体	時間数/月	計画値	3,857.3	4,003.2	4,149.1	4,489	4,632	4,775
		実績値	3,897.2	4,301.2	4,493.7	5190.7	5534.8	
		達成率	101%	107%	108%	116%	119%	
利用者数	計画値	281	289	297	307	315	323	
	実績値	290	291	300	330	344		
居宅介護	時間数/月	計画値	2,542.5	2,599.0	2,655.5	2,784	2,844	2,904
		実績値	2,536.6	2,708.7	2,850.6	3,260.1	3,699.2	
		達成率	100%	104%	107%	117%	130%	
利用者数	計画値	225	230	235	232	237	242	
	実績値	223	225	234	261	274		
重度訪問介護	時間数/月	計画値	687.5	750.0	812.5	728	780	832
		実績値	644.3	640.1	653.3	877	788.5	
		達成率	94%	85%	80%	120%	101%	
利用者数	計画値	11	12	13	14	15	16	
	実績値	13	12	10	11	12		
行動援護	時間数/月	計画値	431.6	448.2	464.8	680	700	720
		実績値	479.1	681.1	714.2	727.5	705.3	
		達成率	111%	152%	154%	107%	101%	
利用者数	計画値	281	289	297	34	35	36	
	実績値	31	30	33	34	36		
同行援護	時間数/月	計画値	195.7	206.0	216.3	297	308	319
		実績値	237.2	271.3	275.6	326.1	341.8	
		達成率	121%	132%	127%	110%	111%	
利用者数	計画値	19	20	21	27	28	29	
	実績値	23	24	23	24	22		

訪問系サービス全体の利用者数、利用時間は対前年度比で大幅に増加しています。

特に居宅介護は、対前年度比で利用者数、利用時間ともに大幅に増加していて、障害者の増加と比例して利用ニーズが高まる傾向にあり、今後も増加することが見込まれます。

同行援護は、利用者数に大きな変動はありませんが、利用時間数は増加していることから、利用ニーズの増加と生活の諸々の場面において支援が必要であることが推察されます。

引き続き、利用者のニーズを把握し、適切なサービス利用が図られるよう、サービスの提供を行ってまいります。また、利用者が増加していることから、広く情報提供を行い、多様な事業所の参入を促進し、社会資源の確保に努めます。

イ. 日中活動系サービス

(1)生活介護	所管課	障害福祉課
---------	-----	-------

事業内容	常に介護が必要な人に対し、施設において入浴や排せつ、食事の介護や創作活動などの機会を提供します。(※重症心身障害者通所施設を通園タイプとし、それ以外の通所施設を創作タイプとします。)
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	3,096	3,222	3,348	3,546	3,708	3,870
	実績値	2,961	3,219	3,325	3,457	3,685	
	達成率	96%	100%	99%	97%	99%	
利用者数	計画値	172	179	186	197	206	215
	実績値	170	181	186	198	200	
	通園タイプ利用者数	18	18	18	20	23	24

生活介護の利用者数は、対前年度比で2人増加しています。生活介護は特別支援学校卒業生の進路先や障害のある人の日中活動の場として重要な社会資源であり、今後も利用ニーズの増加が見込まれることから、より充実したサービスの提供体制を確保できるように努めます。

※令和2年4月に重症心身障害者通所施設「かなえ」が開所しています。

(2)療養介護	所管課	障害福祉課
---------	-----	-------

事業内容	医療の必要な障害のある人で常に介護が必要な人に対し、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護や世話をを行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	360	390	420	330	360	390
	実績値	305	304	304	342	361	
	達成率	85%	78%	72%	104%	100%	
利用者数	計画値	12	13	14	11	12	13
	実績値	10	10	10	12	14	

療養介護の利用者数は、対前年度比で2人増加していますが、サービス提供事業所が県内に少なく、利用希望があるものの待機者がいる状況となっています。引き続き、定期的に待機者の状況を把握し、サービス提供事業所に空きが出た際にスムーズに利用ができるように努めます。

(3) 就労継続支援A型	所管課	障害福祉課
--------------	-----	-------

事業内容	企業等で働くこと(一般就労)が困難な人に対し、 <u>雇用契約を結んだ上で</u> 就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	391	408	425	684	720	756
	実績値	479	575	585	666	946	
	達成率	123%	141%	138%	97%	131%	
利用者数	計画値	23	24	25	38	40	42
	実績値	29	33	35	46	61	

(4) 就労継続支援B型	所管課	障害福祉課
--------------	-----	-------

事業内容	企業等で働くこと(一般就労)が困難な人に対し、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	4,500	4,845	5,190	4,575	4,755	4,935
	実績値	4,139	4,180	4,382	4,548	4,456	
	達成率	92%	86%	84%	99%	94%	
利用者数	計画値	300	323	346	305	317	329
	実績値	280	284	291	308	314	

就労継続支援の利用者数は対前年度比で、A型で15人、B型で6人増加しています。

就労継続支援の利用ニーズは年々高まっており、今後も利用者数の伸びが見込まれるため、湖南地域障害児・者サービス調整会議等を通し、市が新たな事業所の整備や増築等を促進すること等により、サービス量の確保を図るとともに、サービスの質の維持・向上に努めます。

(5) 就労移行支援	所管課	障害福祉課
------------	-----	-------

事業内容	企業等で働くこと(一般就労)を希望する人に対し、一定の期間における生産活動やその他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	339	351	363	550	560	570
	実績値	431	571	507	537	535	
	達成率	127%	163%	140%	98%	96%	
利用者数	計画値	48	49	50	55	56	57
	実績値	62	66	63	58	59	

特別支援学校卒業生等が就労系サービスの進路を目指すにあたっては、就労アセスメント（本人の希望を考慮しつつ将来的な就労の可能性も含めた就労面の力を評価するものであり、就労移行支援事業所で行う。）を実施することとされています。

令和元年度においては、利用者数が59人と計画値を上回っており、障害のある人の就労への意識が高まっていることが考えられます。

(6) 就労定着支援	所管課	障害福祉課
------------	-----	-------

事業内容	就労移行支援等の利用を経て一般就労へ移行した障害のある人で、就労に伴う環境変化により生活面の課題が生じている人に対し、就労の継続を図るために企業・自宅等への訪問や障害のある人の来所により必要な連絡調整や指導・助言等を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	計画値				3	3	3
	実績値				18	28	

平成30年4月から創設された新たなサービスではありますが、創設年度の平成30年度から利用者数が18人となり計画値を大きく上回りました。

令和元年度についても、利用者数が28人と計画値を大きく上回っており、就労移行支援等を利用し一般就労に移行した障害のある人が抱える問題に対して、支援ニーズが高いことを表しています。今後も一般就労移行者の就労の継続を図るため、サービス提供事業所と連携し、さらなるサービスの利用促進を図ります。

(7) 自立訓練(機能訓練)	所管課	障害福祉課
----------------	-----	-------

事業内容	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間において身体機能の向上のために必要な訓練を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	36	36	36	36	36	36
	実績値	31	21	36	35	5	
	達成率	86%	58%	100%	97%	14%	
利用者数	計画値	3	3	3	4	4	4
	実績値	4	3	4	4	1	

(8) 自立訓練(生活訓練)	所管課	障害福祉課
----------------	-----	-------

事業内容	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間において生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	208	208	208	260	260	260
	実績値	160	203	275	265	234	
	達成率	77%	98%	132%	102%	90%	
利用者数	計画値	16	16	16	26	26	26
	実績値	16	20	26	30	24	

機能訓練は前年度比で利用者数が3人減少し、生活訓練は前年度比で利用者数が6人減少したため、それに伴い両サービス共に利用日数が減少しています。

引き続き、市外のサービス提供事業所を含め、訓練を必要とする人がサービスを受けられるよう、サービスの調整を行います。

(9)短期入所(ショートステイ)	所管課	障害福祉課
------------------	-----	-------

事業内容	介護を行う人の疾病等の理由により短期間の入所を必要とする人に対し、障害者支援施設等において必要な介護等の支援を行います。
------	--

【サービスの実績と見込量】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	281	294	308	309	315	321
	実績値	258	279	311	305	283	
	達成率	92%	95%	101%	99%	90%	
利用者数	計画値	104	109	114	103	105	107
	実績値	100	99	114	111	121	

短期入所の利用者数は、対前年度比で10人増加しています。現状として、利用ニーズが非常に高いものの、湖南福祉圏域内においてサービス提供事業所が少ないため、利用ニーズに対応できていない状態が続いています。

今後も、特別支援学校在学中の生徒の新規利用が見込まれるため、利用者は毎年増加していくものと考えられるため、サービスを必要とする人が滞りなく利用できるよう、湖南地域障害児・者サービス調整会議等を通し、市が新たな事業所の整備を促進すること等によりサービス量の確保に努めます。

ウ. 居住支援系サービス

(1) 自立生活援助	所管課	障害福祉課
------------	-----	-------

事業内容	障害者支援施設やグループホーム等を利用して一人暮らしを希望する人に対し、一人暮らしに必要な理解力や生活力を補うために、定期的な居宅訪問や随時の対応により必要な支援を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	計画値				1	1	1
	実績値				2	3	

平成30年4月から創設された新たなサービスではありますが、創設年度の平成30年度から利用者数が2人で計画値を上回りました。令和元年度についても、利用者数が3人と計画値を上回っております。

障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしを希望する障害のある人について、本人の意思を尊重した地域生活を支援するため、今後もサービス提供事業所との連携強化を図り、さらなるサービスの利用促進を図ります。

(2) 共同生活援助(グループホーム)	所管課	障害福祉課
---------------------	-----	-------

事業内容	障害のある人に対し、地域の共同生活の場で入浴や排せつ、食事の介護、日常生活上の相談や援助などを行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
共同生活援助	月数/年	計画値	870	980	1,090	860	900	950
		実績値	732	778	814	861	913	
	利用者数	計画値	87	98	109	86	90	95
		実績値	74	78	87	86	95	
	達成率	85%	80%	80%	100%	106%		

前年度比で利用者数が9人増加し、計画値を上回っています。

グループホームについては、地域生活の場としてのニーズが高い反面、社会資源が少なく、利用を希望する人が利用できていない現状であり、施設入所者や長期入院者の地域生活への移行を促進するためにも、サービス提供基盤のさらなる確保が課題です。

市としては、市独自でグループホームに特化した施設整備補助制度を設け、整備促進を図っているとおりであり、事業者と連携しながら、新たなグループホームの整備へ向けて、引き続き調整を行います。

(3)施設入所支援	所管課	障害福祉課
-----------	-----	-------

事業内容	介護が必要な人や通所が困難な人で、生活介護や自立訓練等のサービスを利用して いる人に対して、居住の場を提供し、夜間における日常生活上の支援を行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
月数/年	計画値	616	605	583	660	660	649
	実績値	670	673	691	697	656	
利用者数	計画値	56	55	53	60	60	59
	実績値	58	59	61	64	60	
	達成数	2	4	8	4	0	

※達成数は、計画値に対する削減数となっています。

※利用者数は、県外施設や入所期間が有期である施設に入所している人も含まれています。

施設入所支援の利用者数は、対前年度比で4人減少し、計画値と同数の60人となっています。

施設から地域生活の移行については、施設入所者の高齢化や障害の重度化、またグループホーム等の社会資源が少ないことから、進んでいないのが現状ですが、地域移行支援や地域定着支援等のサービスを利用することによる地域生活への移行促進や、在宅生活の継続が困難な人を受け入れる住まいの場の確保を進め、障害のある人が住み慣れた地域で生活していくことができるように努めます。

エ. 相談支援サービス

(1) 計画相談支援	所管課	障害福祉課
------------	-----	-------

事業内容	障害福祉サービスおよび地域相談支援を利用するすべての障害者を対象に、サービス利用時にサービス等利用計画の策定、サービス等の利用状況の検証と計画の見直し、その他サービス事業所等との連絡調整を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期			
		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
利用者数	計画値	829	869	909	875	915	955	
	実績値	716	791	838	863	922		
	達成率	86%	91%	92%	99%	101%		
箇所数	(市内)	計画値	7	7	7	8	8	8
		実績値	6	7	8	9	10	
	(圏域)	計画値	10	10	10	28	28	28
		実績値	24	27	28	29	31	

計画値に対する達成率としては101%となっているものの、圏域を含めて市内の相談体制はニーズに対して飽和状態にあり、さらなる相談支援体制の強化や育成が課題です。基幹相談支援コーディネーターの委託業務の1つとして社会資源の開発、強化に関することを盛り込む等、地域の相談支援体制の強化について取り組みます。

(2)地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	所管課	障害福祉課
--------------------------	-----	-------

事業内容	<p>○【地域移行支援】 障害者支援施設等の入所者または精神科病院に入院中の人を対象とし、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談等を行います。</p> <p>○【地域定着支援】 退所後・退院後の地域生活を支援するため、居宅において単身で生活している障害のある人、家族の状況等により同居している家族による支援を受けられない障害のある人を対象とし、常時連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に対する相談や支援を行います。</p>
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
地域移行支援	利用者数	計画値	2	3	4	3	3	3	
		実績値	2	3	1	0	0		
		達成率	100%	100%	25%	0%	0%		
	箇所数	(市内)	計画値	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3	
		(圏域)	計画値	4	5	6	4	4	4
地域定着支援	利用者数	計画値	3	4	5	2	2	2	
		実績値	2	2	1	1	1		
		達成率	67%	50%	20%	50%	50%		
	箇所数	(市内)	計画値	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3	
		(圏域)	計画値	4	5	6	4	4	4
		実績値	4	4	4	4	4		

令和元年度は地域移行支援の利用者数が0人、地域定着支援の利用者数が1人で計画値を下回りました。障害者支援施設等または精神科病院から地域における生活に移行し、その後安定した生活を送るためには、その活動に関する相談等のサポートが必須であることから、施設・医療機関や相談支援事業所、サービス提供事業所と連携を図りながら、支援を必要とする対象者に対して、適切にサービスが提供できるよう努めます。

(2) 地域生活支援事業

ア. 理解促進研修・啓発事業、自発的活動支援事業

(1)理解促進研修・啓発事業、自発的活動支援事業	所管課	障害福祉課
--------------------------	-----	-------

事業内容	理解促進・研修啓発事業として、障害のある人が日常生活や社会生活をする上で生じる「社会的障壁」をなくすため、地域の住民に対して、障害のある人に対する理解を深めるための研修会やイベントの開催、啓発活動等を行います。また、自発的活動支援事業として障害のある人やその家族、地域住民等が地域において自発的に行う活動を支援します。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
理解促進・研修啓発事業	実施数	計画値	2	2	2	3	3	3
		実績値	3	3	3	3	3	
		達成率	150%	150%	150%	100%	100%	
自発的活動支援事業	利用者数	計画値	9	9	9	9	9	9
		実績値	8	8	8	8	8	
		達成率	89%	89%	89%	89%	89%	

理解促進・研修啓発事業では、障害者団体への委託による講演会などを実施し、障害理解の啓発を行いました。自発的活動支援事業では、障害者団体の活発な活動を支援するため、補助金を交付しました。今後も障害者団体への事業委託や補助金交付を通して、障害理解の啓発に努めます。

(2)孤立化防止対策事業	所管課	障害福祉課
--------------	-----	-------

事業内容	高齢の人と障害のある人で構成される世帯など、特に支援が必要と思われる世帯が地域で安心して暮らせるよう孤立化防止対策事業を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
孤立化防止対策事業	実施数	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	1	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	

令和元年度は新規対象者4件を含めた計18件の訪問活動を行い、関係性が徐々に構築されて、より対象者の生活に関わる話ことができました。今後は事業の在り方の再検討を行い、特に支援が必要と思われる世帯が地域で安心して暮らすことができるように努めます。

イ. 相談支援事業

障害者相談支援事業、 支援センター等機能強化事業、 居住入居等支援事業	所管課	障害福祉課
---	-----	-------

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○【障害者相談支援事業】 障害のある人が障害の種別にかかわらず、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害のある人とその家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言および支援を行うとともに、相談支援にかかる関係機関との連絡調整、地域連携システム(ネットワーク)を構築するための会議を開催し、障害のある人の自立と地域生活を支援します。 ○【基幹相談支援センター等機能強化事業】 他の相談支援事業者や関係機関に対する指導および助言、専門的な相談支援等が必要な困難事例への対応ならびに地域自立支援協議会を中心とした関係機関の連携強化と支援体制の整備推進を実施します。 ○【住居入居等支援事業】 一般住宅への入居に困難を抱えている障害のある人に対して、入居に必要なサポート、24時間の相談体制および関係機関との連絡調整などの支援を実施します。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
障害者 相談支援 事業	実施箇所数	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	2	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
	相談件数	計画値	47,194	51,913	57,104	38,148	38,529	38,914
		実績値	38,964	37,396	33,896	33,785	31,367	
		達成率	83%	72%	59%	89%	81%	
地域 自立支援 協議会	実施箇所数	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	2	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
	開催回数	計画値	-	-	-	10	10	10
		実績値	11	10	10	10	9	
		達成率						
基幹 相談支援 センター等 機能強化 事業	実施箇所数	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	1	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
住居入居等 支援事業	実施箇所数	計画値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	
		達成率	0%	0%	0%	0%	0%	

相談件数は計画値を下回る実績値となったものの、依頼のあった相談には対応しており現状は適正な状況であると考えています。しかし、相談支援体制はニーズに対し飽和している状態であるため、特定相談支援事業所補助金の要件や補助額を改定し、相談支援体制の強化を図ります。

基幹相談支援センター等機能強化事業は、他の相談支援事業者・関係機関に対する指導および助言、専門的な相談支援等が必要な困難事例への対応として市で実施していますが、今後、基幹相談支援センターの設置に向けて、関係機関と調整を図ります。

住宅入居等支援事業（居住サポート事業）については、地域移行支援や地域定着支援が地域相談支援給付として障害者総合支援法上のサービスとして位置づけられたことから、これらのサービスを活用し支援しています。

ウ. 成年後見制度利用支援事業、成年後見制度法人後見支援事業

成年後見制度利用支援事業、 成年後見制度法人後見支援事業	所管課	障害福祉課
---------------------------------	-----	-------

事業内容	<p>○【成年後見制度利用支援事業】 後見人等の報酬等の経費について、助成を受けなければ成年後見制度の利用が困難であると認められる障害のある人に対し、申立てに要する経費および後見人等の報酬を助成し、障害のある人の権利擁護を図ります。</p> <p>○【成年後見制度法人後見支援事業】 成年後見制度における後見等の業務を適正に行うことができる法人を確保できる体制を整備するとともに、法人後見の活動を支援することで、障害のある人の権利擁護を図ります。</p>
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
成年後見 制度利用 支援事業	利用者数	計画値	2	2	2	11	12	13
		実績値	4	8	9	19	21	
		達成率	200%	400%	450%	172%	175%	
成年後見 制度 法人後見 支援事業	実施箇所数	計画値	0	0	1	1	1	1
		実績値	0	0	0	0	0	
		達成率	0%	0%	0%	0%	0%	

令和元年度の利用者数は21人で計画値を大幅に上回る実績値となり、障害のある人の権利擁護を図ることができました。しかしながら、法人後見支援事業の実施箇所数が0箇所であり、成年後見制度の利用ニーズに対して、受け手が不足していることが課題です。今後は、国の指針に基づき、圏域での協議を重ねて中核機関の整備と地域連携ネットワークを構築し、より一層の成年後見制度の利用促進に向けて取り組みます。

エ. 意思疎通支援事業、手話奉仕員養成研修事業

意思疎通支援事業、手話奉仕員養成研修事業	所管課	障害福祉課
----------------------	-----	-------

事業内容	手話通訳者および要約筆記者等を派遣し、聴覚障害のある人等のコミュニケーションの確保を図ります。また、聴覚障害のある人との交流活動の促進、日常生活程度の技術を習得した手話奉仕員を養成するための講座を開催します。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
手話通訳者 ・要約 筆記者 派遣事業	利用者数	計画値	60	60	60	60	60	60
		実績値	55	64	65	68	65	
		達成率	92%	107%	108%	113%	108%	
	利用件数	計画値	500	500	500	500	500	500
		実績値	395	511	528	549	584	
		達成率	79%	102%	106%	110%	116%	
手話通訳者 設置事業	実設置者数	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績値	1	1	1	1	2	
		達成率	50%	50%	50%	50%	100%	
手話奉仕員 養成講座 事業	修了見込者数 (登録見込者数)	計画値	40	40	40	25	25	25
		実績値	23	30	26	23	21	
		達成率	58%	75%	65%	92%	84%	

※手話奉仕員養成講座については平成26年度から1年毎の前期・後期に分け、2年間受講した者だけが修了者となります。

令和元年度は計画値に近い実績値となり、聴覚障害のある人等のコミュニケーションの確保を図ることができました。今後も聴覚障害のある人等のコミュニケーションの確保や交流活動の促進を図ります。また、手話に興味を持ってもらえるようなPRをして、手話奉仕員養成講座を受講希望者が増える取り組みを行います。

オ. 日常生活用具給付等事業

日常生活用具給付等事業	所管課	障害福祉課
事業内容	障害のある人の日常生活の便宜を図るため、障害の種類と程度に応じて、各種の日常生活用具を給付します。	

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
全体	給付件数	計画値	2,957	3,117	3,287	2,785	2,944	3,111
		実績値	2,625	2,629	2,663	2,742	2,864	
		達成率	89%	84%	81%	98%	97%	
介護・訓練 支援用具	給付件数	計画値	10	11	12	7	8	9
		実績値	3	6	12	13	17	
自立生活 支援用具	給付件数	計画値	60	72	86	37	39	41
		実績値	28	28	22	15	22	
在宅療養等 支援用具	給付件数	計画値	22	25	29	32	34	36
		実績値	36	27	23	19	27	
情報・ 意思疎通 支援用具	給付件数	計画値	22	23	24	29	30	31
		実績値	30	23	20	26	23	
排泄管理 支援用具	給付件数	計画値	2,839	2,981	3,130	2,678	2,831	2,992
		実績値	2,526	2,544	2,582	2,668	2,773	
居住生活 動作補助 用具	給付件数	計画値	4	5	6	2	2	2
		実績値	2	1	4	1	2	

令和元年度は計画値に近い給付を行い、障害のある人の日常生活を支援することが出来ました。今後も用具が必要な件数の増加が見込まれるため、必要な方に対して着実に給付を行います。

カ. 移動支援事業

移動支援事業	所管課	障害福祉課
--------	-----	-------

事業内容	障害のある人が自立した日常生活または社会生活を営むために、屋外での移動が困難な障害のある人に対して、外出のための支援を実施します。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期			
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	
全体	延べ 利用時間	計画値	13,340	14,007	14,708	21,210	23,562	26,160	
		実績値	16,177	17,579	18,760	21,518	22,004		
		達成率	121%	126%	128%	101%	93%		
	利用者数	計画値	211	249	294	267	297	330	
		実績値	201	214	232	242	253		
	実施箇所数	計画値	33	34	35	55	57	59	
		実績値	49	50	53	64	65		
	個別支援	延べ 利用時間	計画値	13,073	13,727	14,413	20,336	22,550	25,010
			実績値	15,701	16,730	18,048	20,763	21,658	
達成率			120%	122%	125%	102%	96%		
利用者数		計画値	199	236	280	248	275	305	
		実績値	188	201	208	218	233		
実施箇所数		計画値	33	34	35	35	36	37	
		実績値	31	33	34	42	42		
グループ 支援		延べ 利用時間	計画値	267	280	294	874	1,012	1,150
			実績値	476	849	712	755	346	
	達成率		178%	303%	242%	86%	34%		
	利用者数	計画値	12	13	14	19	22	25	
		実績値	13	13	24	24	20		
	実施箇所数	計画値	18	19	20	20	21	22	
		実績値	18	17	19	22	23		

令和元年度は、グループ支援については大きな減少が見られましたが、全体としては、延べ利用時間及び利用者数について前年度比で微増となっています。

今後も移動支援を必要とする方の増加が見込まれるため、ニーズの把握に努めながら、支援を行います。

キ. 地域活動支援センター

地域活動支援センター事業	所管課	障害福祉課
--------------	-----	-------

事業内容	障害のある人の地域生活支援の促進を図ることを目的に、地域活動支援センターにおいて、障害のある人に対する創作活動、生産活動などの基礎的事業を行うとともに、医療・福祉および地域の社会基盤との連携強化のための調整や機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
基礎的事業	実施箇所数	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2	2	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
機能 強化事業 (市内)	利用者数	計画値	772	849	934	868	880	892
		実績値	880	831	775	765	740	
		達成率	114%	98%	83%	88%	84%	
	実施箇所数	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	1	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
機能 強化事業 (市外)	利用者数	計画値	83	91	100	70	72	74
		実績値	66	67	75	75	87	
		達成率	80%	74%	75%	107%	121%	
	実施箇所数	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	1	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	

市内の機能強化事業の利用者数については計画値を下回る結果となりましたが、その他の部分では計画値を上回っています。令和2年度以降は入浴設備の更新を実施する等、ハード面での整備を行いながら、さらなる事業の充実に努めます。

ク. その他の事業

(1) 訪問入浴サービス事業	所管課	障害福祉課
----------------	-----	-------

事業内容	在宅で生活する身体障害のある人で、単独での入浴が困難な人の家庭を訪問し入浴サービスを提供することにより、身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図ります。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施箇所数	計画値	1	1	1	1	1	1
	実績値	1	1	1	1	1	
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
利用回数	計画値	278	278	278	272	272	272
	実績値	95	120	121	126	186	
	達成率	34%	43%	44%	46%	68%	
利用者数	計画値	8	8	8	6	6	6
	実績値	2	4	4	4	5	
	達成率	25%	50%	50%	67%	83%	

利用回数および利用者数については計画値を下回りましたが、昨年度と比較すると利用者数、利用回数が増加し、訪問入浴を必要とする方に不足なくサービスの提供を行うことができました。今後もサービスの周知を図るとともに、利用者に対して入浴サービスを提供することにより、身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図ります。

(2) 日中一時支援事業	所管課	障害福祉課
--------------	-----	-------

事業内容	障害のある人が自立した日常生活または社会生活を営むために、日中における活動の場を確保し、また、家族の就労支援および一時的な休息を図るための支援を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用回数	計画値	9,862	10,256	10,965	7,920	8,040	8,160
	実績値	8,159	8,132	8,290	8,775	11,176	
	達成率	83%	79%	76%	110%	139%	
利用者数	計画値	212	214	216	132	134	136
	実績値	173	135	148	165	160	
実施箇所数	計画値	24	24	24	39	40	41
	実績値	29	36	33	38	45	

実績値においては全ての項目で前年度を上回っており、ニーズに応じたサービスの提供ができました。また、昨年度と比較して、大幅に利用回数が増えていて、利用者のニーズが高まっていることが伺えます。実施箇所数は増えてはいるものの、今後も利用ニーズが高まることが予想されるため、新たな社会資源の開拓が課題です。

(3) 社会参加促進事業	所管課	障害福祉課、広報課
--------------	-----	-----------

事業内容	障害者スポーツ大会や点字・声の広報等発行事業の実施により、障害のある人の自立と社会参加を促進します。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
障害者 スポーツ 大会事業	参加者数	計画値	570	570	570	625	625	625
		実績値	590	621	625	613	578	
		達成率	104%	109%	110%	98%	92%	
点字・ 声の広場等 発行事業	発行回数	計画値	24	24	24	24	24	24
		実績値	24	24	24	24	24	
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	
自動車 運転免許 取得事業	助成件数	計画値	2	2	2			
		実績値	0	3	2			
		達成率	0%	150%	100%			
自動車 改造費 助成事業	助成件数	計画値	3	3	3			
		実績値	0	3	3			
		達成率	0%	100%	100%			

障害者スポーツ大会事業の参加者数については計画値を下回りましたが、達成率は9割となっており、おおむね計画通りに推移しているため、今後も障害のある人の自立と社会参加を促進するために事業を継続します。

2. 児童福祉法によるサービス

(1)児童発達支援	所管課	発達支援センター
-----------	-----	----------

事業内容	障害のある子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導、知識技術の習得の支援、集団生活への適応訓練等を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	642	642	642	642	642	642
	実績値	614	579	614	579	716	
	達成率	96%	90%	96%	90%	112%	
利用者数	計画値	66	66	66	67	68	69
	実績値	64	65	68	81	117	

- ・保育所や認定こども園に在籍している子どもの利用ニーズが高まっており、利用者数が増加しています。
- ・医療的ケアが必要な重症心身障害児に対しても早期からの療育を行い、さまざまな支援ニーズに対応できるように身近な地域での通所支援の充実に努めています。
- ・今後も関係課や相談支援事業所、児童発達支援事業所等の関係機関との連携を進め、早期からの発達支援の体制を整えていきます。

(2)医療型児童発達支援	所管課	発達支援センター
--------------	-----	----------

事業内容	上肢、下肢または体幹の機能障害のある子どもに対し、児童発達支援および治療を行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	34	34	34	34	34	34
	実績値	24	22	35	38	21	
	達成率	71%	65%	103%	112%	62%	
利用者数	計画値	5	5	5	5	5	5
	実績値	5	4	7	5	4	

- ・実績値が計画値を下回りましたが、市内に医療的ケアを必要とする重症心身障害児を対象とした児童発達支援事業所があり、送迎サービスも実施しているためと考えられます。
- ・今後も計画値に示している利用者数を見込んでおり、サービスの利用が必要な方がスムーズに通所できるよう支援します。

(3)放課後等デイサービス	所管課	発達支援センター
---------------	-----	----------

事業内容	就学している障害のある子どもに対し、授業終了後や休業日に生活能力の向上のための訓練や社会交流を促進する活動等を行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	1,083	1,233	1,350	3,047	3,531	4,015
	実績値	1,571	2,191	2,931	3,489	3,842	
	達成率	145%	178%	217%	115%	109%	
利用者数	計画値	156	171	188	277	321	365
	実績値	153	189	221	268	297	

- ・重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービス事業所が増え、障害の重い子どもの通所支援の充実に取り組みました。
- ・延べ日数と利用者数ともに過年度より増加傾向にあり、サービスの利用ニーズが高いことから、今後も利用者の増加が見込まれます。
- ・引き続き、学校や相談支援事業所等の関係機関との連携を進め、切れ目のない支援体制を整えていけるよう取り組みます。

(4)保育所等訪問支援	所管課	発達支援センター
-------------	-----	----------

事業内容	保育所等の施設に通う障害のある子どもに対して、その施設を訪問して、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。
------	---

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	5.5	6.0	6.5	13	14	14
	実績値	10.1	11.9	10	9	13	
	達成率	184%	198%	154%	69%	93%	
利用者数	計画値	10	10	10	20	21	22
	実績値	18	19	15	15	20	

- ・保育所、認定こども園等の就学前施設に加えて、地域の小学校に対してもサービスの提供を行い、障害のある子どもが保育所や学校等の集団生活を安心して過ごせるように支援しました。
- ・今後も、保育所や学校等の施設と連携しながら、サービスの利用が必要な子どもがスムーズに支援を受けることができるよう取り組みます。

(5) 居宅訪問型児童発達支援	所管課	発達支援センター
-----------------	-----	----------

事業内容	通所のために外出することが著しく困難な重症心身障害児などの子どもに対して、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の習得の支援などを行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
日数/月	計画値	/			12	12	12
	実績値				1	1	
	達成率				8%	8%	
利用者数	計画値	/			6	6	6
	実績値				1	1	

- ・感染症のリスクや重い障害のため通所支援の利用が困難な子どもに対して、自宅に訪問して療育を行い、子どもの成長に応じてその後に通所支援につなぎました。
- ・今後も、保護者や関係課等に制度や事業所の周知を進め、必要なサービスを利用できるように努めます。

(6) 障害児相談支援	所管課	発達支援センター
-------------	-----	----------

事業内容	障害児通所支援を利用するすべての障害のある子どもを対象に、サービス利用時に障害児支援利用計画の策定、サービス等の利用状況の検証と計画の見直し、その他サービス事業所等との連絡調整を行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	計画値	237	252	269	375	421	467
	実績値	240	270	311	370	439	
	達成率	101%	107%	116%	99%	104%	

- ・おおむね計画どおり進捗しています。障害児通所支援の利用者が増加傾向にあることから、障害児相談支援の対象者も引き続き増加するものと見込んでいます。
- ・障害児通所支援の利用者が増加している一方で、障害児相談支援事業所が不足していることから、障害児相談支援事業所への補助制度を創設し、新規事業所の開設を進めます。
- ・発達に支援が必要な子どもの状態像や支援ニーズが多様化していることから、相談員には幅広い知識と経験が求められています。相談員の専門性を高めるための研修の充実や関係機関とのネットワーク作りも必要です。

(7) 医療的ケア児に対するコーディネーターの配置	所管課	発達支援センター
---------------------------	-----	----------

事業内容	医療的ケアが必要な子どもに対し、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の各関連分野の支援を調整するコーディネーターを配置します。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標		第4期			第5期		
		平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
配置人数	計画値				1	1	1
	実績値				0	0	

- 発達支援センターにおいて相談員を配置し、医療的ケアが必要な子どもに対して障害児相談支援を実施し、通所や訪問によるサービスの利用につなげています。今後、コーディネーターのための研修会への参加を進めていきます。
- 保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関による連携を促進するため、医療的ケア児の支援のための協議を草津市障害児（者）自立支援協議会の子ども支援部会において実施し、市内の医療的ケア児の実態把握やニーズ調査を行いました。今後も部会において調査結果にもとづき必要な取り組みについて協議していきます。

3. 法定外のサービス

(1) 社会的事業所・滋賀型地域活動支援センター・生活ホーム	所管課	障害福祉課
--------------------------------	-----	-------

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事業所・滋賀型地域活動支援センターは滋賀県独自の事業であり、滋賀県と本市が補助を行います。社会的事業所は、作業能力があるものの一般企業に就労できない人を対象としており、滋賀型地域活動支援センターは、難病患者や薬物依存症、引きこもりの人を対象としており、いずれも日中活動の場を提供する事業所です。 ○ 障害のある人が入居している生活ホームに対して、地域において共同生活を営むことを支援するため、運営費の補助を行います。
------	--

【サービスの計画値と実績】

指標			第4期			第5期		
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会的 事業所	日数/年	計画値	240	240	240	240	240	240
		実績値	242	230	227	222	225	
		達成率	101%	96%	95%	93%	94%	
	利用者数	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	1	
滋賀型 地域活動 支援 センター	日数/年	計画値	500	500	500	240	240	240
		実績値	708	184	8	50	43	
		達成率	142%	37%	2%	21%	18%	
	利用者数	計画値	3	3	3	1	1	1
		実績値	5	1	1	1	1	
生活 ホーム	日数/年	計画値	0	0	0	240	240	240
		実績値	0	0	0	0	0	
		達成率	0%	0%	0%	0%	0%	
	利用者数	計画値	0	0	0	1	1	1
		実績値	0	0	0	0	0	

滋賀型地域活動支援センターにおける利用者の作業日数については計画値を大きく下回る結果となりました。事業者へのヒアリングによると、利用者の体調等により作業日数が変動するため実績が少なくなったことが要因の1つです。

また、生活ホームについては、利用者のグループホームへの移行により、平成26年度から実績がなく、令和元年度においても同様に実績がありません。

今後も事業所に対して補助を行い、サービスを必要とする方々の日中活動の場の確保に努めます。